

永源寺の紅葉



(表紙写真提供：大子町役場観光商工課)

大子町にある永源寺は、曹洞宗で臥雲山^{がうんざん}と号し、文安3年(1446)に創建されました。御本尊は仏教の開祖でもある釈迦如来です。元治元年(1864)、天狗党の乱により寺の大半が焼失しましたが、昭和28年(1953)に現在の本堂が再建され、後に鐘楼も建立されました。

永源寺は、毎年秋になると境内を埋め尽くす艶やかな紅葉に包まれることから、通称「もみじ寺」とも呼ばれています。また、JR水郡線常陸大子駅の裏の高台に位置するため、境内からは大子町の中心部を一望できるほか、奥久慈の山々が紅色に染まる見事な景色を楽しむこともできます。

昭和60年(1985)、町の新たな観光事業として、大子町商工会が発案した「奥久慈大子七福神巡り」が誕生しました。永源寺の神様はこの七福神の紅一点、弁財天です。

弁財天とはインドの神様で、もとは水の神様です。日本に伝来してからは、弁舌や音楽を司る芸能の神様として、多くの人々から信仰されてきました。

また、知恵や学問は福財をもたらしてくれるとの考えから、財宝を与える神としての信仰も生まれ、それまでの「弁才天」から「弁財天」と呼ばれるようになりました。永源寺の弁財天は手が八本あることから、「八臂^{はっぴ}弁財天」といわれています。

この秋、ご家族・ご友人とともに、紅く彩る奥久慈大子のもみじ寺へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県久慈郡大子町大子1571

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「那珂IC」から約1時間

【電車】JR水郡線「常陸大子駅」から徒歩10分

◆駐車場：紅葉時期は、渋滞緩和のため町内に設置された臨時駐車場をご利用ください
(※永源寺駐車場は、ご利用いただけません)